

9 観 光

管内は、「大雪山国立公園」など4つの自然公園を有し、山岳や湖沼、温泉など自然や観光資源に恵まれ、道内外の皆さんに親しまれています。最近では、アウトドアスポーツや農業体験など体験型観光も盛んになっています。

北部地域では、朱鞠内湖・天塩川流域の豊かな自然や農村風景を背景に参加・体験型の観光開発が進められています。

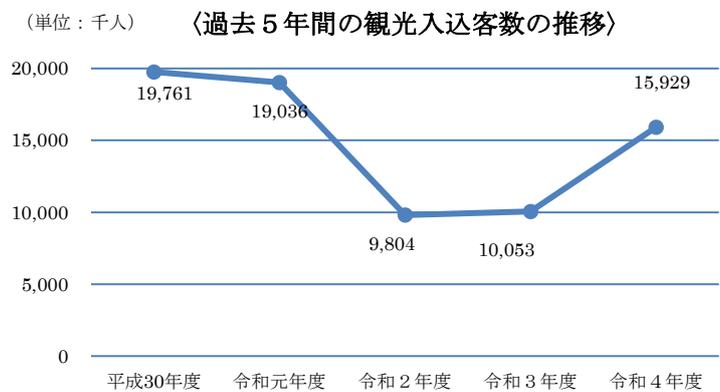
中部地域には、道北の経済の拠点である旭川をはじめ、層雲峡温泉や旭岳温泉など、豊かな観光資源があります。

南部地域には、ラベンダーと丘の風景を目当てに多くの観光客が訪れており、テレビや映画のロケなども行われています。また、アウトドアスポーツなど自然を生かした体験観光も盛んに行われています。

① 観光入込客数の概況

令和4年度の上川管内の観光入込客数（延べ数）は1,592万9千人となり、前年度（1,005万3千人）に比べ約58.4%（587万6千人）増加しました。

引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、昨年度に比べ、感染拡大防止のための行動制限等がなく、各地でイベントが開催されたことや「どうみん割」をはじめとする各自治体独自のキャンペーンの成果により大幅に増加となりました。



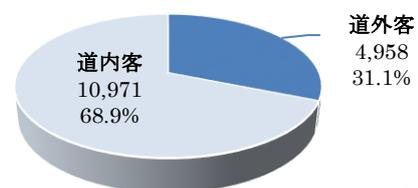
出典：令和4年度 上川管内観光入込客数調査報告書
（上川総合振興局産業振興部商工労働観光課）

② 道外客・道内客別観光入込客数

令和4年度の道外客は495万8千人となり、前年度（219万5千人）に比べ125.9%の増加、道内客は1,097万1千人となり、前年度（785万9千人）に比べ39.6%の増加となりました。

構成比では、道外客31.1%（前年度比+9.3ポイント）、道内客68.9%（同▲9.3ポイント）となっています。

〈道外客・道内客別観光入込客数〉



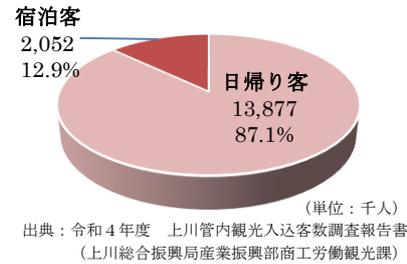
（単位：千人）
出典：令和4年度 上川管内観光入込客数調査報告書
（上川総合振興局産業振興部商工労働観光課）

③ 日帰り客・宿泊客別観光入込客数

令和4年度の日帰り客は1,387万7千人となり、前年度（883万2千人）に比べ57.1%の増加、宿泊客は205万2千人となり、前年度（122万1千人）に比べ68.0%の増加となりました。

構成比では、日帰り客87.1%（前年比▲0.8ポイント）、宿泊客12.9%（同+0.8ポイント）となっています。

＜日帰り客・宿泊客別観光入込客＞

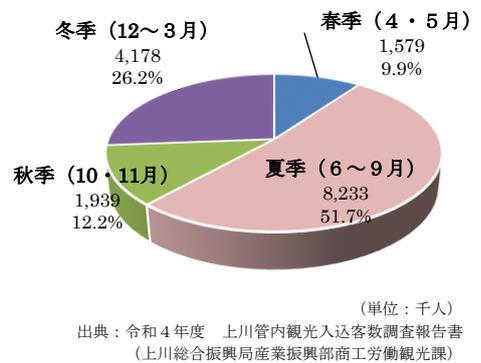


④ 季節別観光入込客数

令和4年度の春季（4・5月）は157万9千人となり、前年度（103万7千人）に比べ52.3%の増加、夏季（6～9月）は823万3千人となり、前年度（467万7千人）に比べ76.0%の増加、秋季（10・11月）は193万9千人となり、前年度（156万9千人）に比べ23.6%の増加、冬季（12～3月）は417万8千人となり、前年度（277万1千人）に比べ50.8%の増加となりました。

構成比では、春季9.9%（前年度10.3%）、夏季51.7%（同46.5%）、秋季12.2%（同15.6%）、冬季26.2%（同27.6%）となっています。

＜季節別観光入込客数＞



⑤ 外国人観光客数

令和4年度の上川管内における訪日外国人宿泊者数(実人数)は194,206人となり、前年度（2,826人）と比較して6,772.1%（191,380人）増加しました。また、宿泊延数は315,143人泊となり、前年度（4,629人泊）と比較して6,708.0%（310,514人泊）増加しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての水際対策が10月から緩和されたことから、大幅に増加となっています。

＜過去5年間の訪日外国人宿泊者数の推移＞

